

令和2年度武蔵村山市一般会計補正予算（第6号）の概要

1 補正予算の規模 (単位：千円)

補正前の額	補正額	補正後の額
37,688,284	1,083,541	38,771,825

2 補正予算の財源内訳 (単位：千円)

国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	財政調整基金 繰入金
405,340	51,620	0	137	626,444	336,838

3 補正事項（主要な施策）

○市ホームページ自動翻訳【企画財政部】 7万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、市ホームページからの情報を得る市民が多くなっていることから、自動翻訳機能に「ベトナム語」を追加する。

○各公共施設水栓改修事業【各部】 450万円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各公共施設の水栓をレバー式に改修する。

○会議録作成支援システムの導入【企画財政部】 897万円

「新しい生活様式」を踏まえた会議運営と会議の増加による業務負担の増加に対応するため、会議録作成支援システムを導入する。

○障害者就労継続支援整備補助【健康福祉部】 100万円

障害者就労支援センター「とらい」におけるオンライン面談等を行うための環境を整備するため、補助金を交付する。

○認可保育所等新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助【子ども家庭部】 1,500万円

市内の認可保育所等（幼稚園型一時預かり事業を実施している幼稚園を含む。）に対して、新型コロナウイルス感染拡大防止に資する衛生用品や備品の購入費等に対する補助金を交付する。

○多胎児世帯移動支援事業【子ども家庭部】 72万円

多胎妊婦及び3歳未満の多胎児がいる世帯に対して、面接及び母子保健事業利用時のタクシー利用料金を助成する。

○ロタウイルスワクチン予防接種事業【健康福祉部】 **1,119万円**

ロタウイルスワクチン予防接種の定期接種化に伴い、ワクチンの購入費や予防接種委託料を計上する。

○新型コロナウイルス感染症緊急相談窓口設置補助【協働推進部】 **115万円**

武蔵村山市商工会が実施している「新型コロナウイルス感染症緊急相談窓口」の設置期間を、令和2年12月まで延長する。

○まちづくり基本方針の改定【都市整備部】 **506万円**

多摩都市モノレール延伸後のまちづくりの将来像を明確にするため、まちづくり基本方針を令和2年度から4年度までの3年間をかけて改定する。

○市内循環バス運行経費補助【都市整備部】 **2,500万円**

市内循環バス内の密集、密接を避けるため、通常運行を維持するための補助金を増額する。

○学習指導サポーターの配置【教育部】 **496万円**

学びの保障をサポートするため、教室内における児童・生徒への補助等を行う学習サポーターを全小・中学校に配置する。

○児童・生徒一人1台のタブレット端末等の整備【教育部】 **3億6,669万円**

国のGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒一人に1台のタブレット端末及び各小・中学校に遠隔学習用のカメラ、マイクを購入する。

○Web会議システムの導入【教育部】 **879万円**

「新しい生活様式」を踏まえた会議運営と教職員の働き方改革を実現するため、Web会議システムを導入する。

○学校再開に伴う感染症対策【教育部】 **6,466万円**

全小・中学校における学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る消耗品及び備品を購入する。

○学校給食費負担事業【教育部】 **9,041万円**

市内の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者の負担軽減を図るため、学校給食費の軽減策の実施期間を令和2年12月まで延長する。

備考 補正事項（主な施策）の予算額は1万円未満を四捨五入